~地域の未来と共に~

社会医療法人 熊谷総合病院 院外報「くまそう」

くまそう KUMASOU

2021.4 11



CONTENTS 院内動線紹介 1 リハビリテーション科のワンポイント講座 6 感染対策紹介 2 お仕事紹介 入退院支援センター 7 診療科紹介 脳神経外科 3 季節のレシピ紹介 9 FUS 4 ICLS コース受講について 10



認知リハビリ ………………… 5

受診される患者さまへ、診察までの動線のご案内

・入口で手指消毒を行い、左側通行でお入りください。①写真 (手指消毒中自動検温機で検温しております)②写真

再診・予約の方

- ・再来受付機に診察券を挿入し受付を行い、発行される「外来基本カード」 を緑のファイルに入れ、各診療科の受付に提出してください。③写真
- ※自動再来受付機は午前8:00から受付を開始しています。
- ※前回の受診から半年以上経過している場合は、自動再来受付機が使用できません。

改めて、診察申込書のご記入が必要となります。必要事項ご記入のうえ、 診察券、保険証等といっしょに、総合受付に提出してください。

Torus Andrews





初診の方

- ・総合受付 1 番にある発券機で番号を取り、横の記入台で「診察申込書」を 記入し、順番になりましたら窓口に、申込書、健康保険証・他の医療機関 からの紹介状、公費負担受給者証などを提出してください。④写真
- ・発行される「外来基本カード」と「受付票」を各診療科受付まで提出して ください。

※初診時の選定療養費について

保険外併用療養費(選定療養費)には「200 床以上の病院で受けた初診」という項目があり、これに該当する当院(310 床)では、初診時に「紹介状(診療情報提供書)をお持ちでない方」等を対象に「選定療養費」として 5,500 円(税込)をご負担いただいております。

ただし、下記の場合はご負担の必要はございません。

- ・他院からの紹介状(診療情報提供書)をお持ちの方
- ・緊急の場合(救急車での搬送など)
- ・生活保護法の医療扶助の対象となっている方
- ・特定の疾患や障害などで、各種の公費負担を受給されている方
- ・今回の診療科は初めてであるが、当院の別の診療科に現在通院されている方など

診察が終わったら

- ・ファイルを各診療科受付に提出してください。
- ・処方箋、次回予約票等を受け取り、会計のため総合受付に 移動します。
- ・総合受付のモニター掲示板に、計算の終わっている番号が

表示されますので、受付時の自身の番号が表示されましたら、自動精算機にて会計ができます⑤写真



総合受付上部の番号の意味

1:総合案内・患者サポート相談窓口

2:初診受付

3:紹介状受付

4・5:会計窓口



熊谷総合病院 感染対策紹介 第1弾



熊谷総合病院では、来院される患者さまやご家族、当院スタッフを新型コロナウイルス感染 症から守るために様々な対策を行っております。

当院での感染対策の取り組みを紹介していきます。

玄関

病院入口にて、自動検温機での体温の計測を行っており、出入館時には左側通行を徹底し、全ての方に マスク着用、手指消毒をお願いしております。

入口正面にはご案内を掲示し、体調のすぐれない方にはスタッフにお声かけいただくようご案内しております。

発熱や呼吸器症状など、感染の可能性があ る方は、専用の別室へご案内しております。

また、入院患者さまとのご面会につい ては、感染拡大防止の為、基本的には面 会禁止とさせていただいており、病院か らご来院いただくよう連絡のあった場合 のみ、面会が可能です。ご希望があれば Web 面会が可能ですので各スタッフにお 気軽にお問い合わせください。



新型コロナウイルス感染予防

玄関

受診される方へ

面会禁止

受付

飛沫感染防止のため、すべ ての受付にパーテーションパ ネルを設置し、患者さま・ス タッフ、双方の感染防止のた めに、スタッフはマスクやフェ イスシールド、ゴーグルなど をつけて対応いたします。

パーテーションパネルを設 置したことにより、声が聞こ えにくいというお声をよくい ただきますが、安心して診療 を受けていただくため、ご理 解をお願い致します。



黙食コーナー

検査のために食事を抜いて来 院された患者さまなどが検査後 に使用できる、黙食専用コーナー を総合受付から少し離れたとこ ろに設置しております。

また、スタッフの利用する ラウンジでも飛沫感染防止の ため座席数を減らし、対面を 避け黙食とし、食事が終わり 次第速やかに退室するようア ナウンスしております。



3密予防

総合受付や外来待合などで 患者さま同士の密を回避する ため、長椅子は張り紙をし、 座席の間隔を空けています。

これにより、座席数が減っ てしまうので、通路などに椅 子を増やしました。ご家族同 士でもおひとつ席を空けてい ただきますよう、ご協力をお 願い致します。



職員ラウンジ黙食



「脳で困ったら熊総へ」 「救急から在宅まで」を合言葉に

はじめに

令和 2 年度脳神経外科の常勤は同年 4 月から橋本 郁郎理事長、掛川徹医師、古川博規医師、松本隆 洋医師に加え阿部圭市医師が赴任し(全員日本脳 神経外科学会専門医・指導医)常勤 5 名体制となり ました。

非常勤医師として認知症専門医の脳神経外科と して平田容子医師が毎週木曜日に来院され物忘れ 外来診察を行っています。



左から松本医師・古川医師・橋本理事長・掛川医師・阿部医師

熊谷総合病院脳神経外科の特徴

『脳で困ったら熊総へ』『救急から在宅まで』

上記を合言葉に脳神経外科の基本である脳卒中だけではなく、脊髄脊椎外科、てんかん、認知症、 ふるえなど多岐にわたる診療を行っています。 良性悪性の脳腫瘍、神経難病の慢性期も対応し、 脳神経の総合診療医としてほぼすべての神経疾患を網羅した脳神経センターとして稼働しています。 対応疾患の多様性と急性期から在宅まで対応する時間的柔軟性があります。

- ①1つ目の特徴として2020年6月に埼玉脳卒中ネットワーク(SSN)基幹病院の指定を受け、 年間手術件数は110件より200件超へと増加、入院患者数も平均40名から80名まで増加 しておりますが、患者様が増える中でも在院日数の短縮化とリハビリ実績の向上、社会復帰 が達成できています。
- ②2つ目の特徴として午前は脳神経外科、午後は脳神経内科、脳ドッグを開設し、さらに入院 診療も手術、血管内治療の手術からハイケアユニットにおける集中治療からストロークユ ニット、そして回復期病棟から社会復帰、訪問看護まで、脳神経の緊急入院から、慢性期ま ですべてリハビリテーションを含めた対応ができます。
- ③3つ目の特徴として毎週月曜日には東京女子医科大学から機能外科の権威、平孝臣教授を迎え、ふるえやパーキンソン病、ジストニアの主に集束超音波を用いた、切らずに治す脳外科治療と言う専門的診療を行っています。脳磁図を用いた高度脳ドッグ、放射線トモテラピー療法を備え、脳腫瘍、てんかん、認知症など高度脳神経診療と治療を行っています。

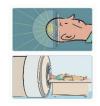
今後の診療提供体制として地域社会への社会的処方と多職種連携

合計 100 名規模のリハビリテーション専門職、摂食嚥下の認定看護師をはじめ脳神経ケアナースを配属し、2021 年は脳卒中ケアユニットの開設と神経難病のレスパイト、および在宅支援を計画しより一層の救急の充実と社会復帰の充実を計画しています。

総合病院として整形外科、循環器科の併設により、運動器、心臓リハとケアと心理士による心のケアを含めたヒトに向き合う概念を持ち、脳神経総合診療だけではなく、その中にスペシャリズムも併せ持ち、幅広いプロフェッショナルとして活動を行って参ります。

どうぞ地域の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

ふるえ外衆について



ふるえについてお困りのことはありませんか?

- ✓ 手のふるえで字がうまくかけない
- ☑ 食事の時に、お箸やコップをうまく持てない。
- ✓ 声がふるえてうまく発声することができない。
- ☑ 手足や頭などが意に反してふるえてしまう。

熊谷総合病院では、自分の意に反して起きる「ふるえ」について、**本態性振戦に対する専門外来**を開設いたしました。(2020年4月より)

手術や、薬を使わない、新たな治療法「MRガイド下集束超音波治療」は、2019年6月1日に新たに 保険適用となり、保険診療として治療が可能です。

▶本態性振戦とは

身体の一部が自分の意思とは関係なく規則的に動いてしまう状態を指します。「本態性振戦」は40歳以上の4%、65歳以上の5~14%の人に症状が認められているといわれております。



新たな治療法 MRガイド下集束超音波治療(FUS)とは

MRI画像を用いて脳深部にある振戦の神経活動が異常な部分に、超音波のエネルギーを集束させて照射し、熱凝固することで、ふるえを軽減させる治療方法です。従来の手術療法と 異なり、頭を切らずに治療できるようになりました。

MRガイド下集束超音波治療 (FUS)の特徴

放射線被ばくがない

MRIを併用するためリアルタイムに正確な治療が効率的に行える

外科的な処置や機器の埋め込みがないため、身体への負担が少ない

入院期間が短く、早い社会復帰が可能

埼玉県では当院のみ!!

詳しくはホームページまたは当院へお問い合わせください!

当院で行っている FUS 治療のご紹介は YouTube でもご覧いただけます!



お問合せ・診療予約について

「ふるえ(FUS)外来希望」とお伝えください。

※現在かかっている主治医がいる場合は紹介状をご持参ください。

〒360-8567 埼玉県熊谷市中西四丁目 5 番 1 号 社会医療法人 熊谷総合病院 地域医療連携室 (直通電話) 048-525-6779 直通 FAX 048-525-6769 http://www.kumasou.or.jp/

「認知症はよくならない」は、もうふるい!

当に効く、認知リハビリ

「認知リハビリで脳のはたらきが良くなる」ことが 能谷総合病院が関係する研究で科学的に証明されました!

〈図1〉認知機能(MMSEスコア) ミニメンタルステート検査/30点満点の認知機能検査

27.0 26.5 26.0 25.5 25.0

被験者のセッション時間は120-60分/日で、1回のセッションは最大 でも週に1回。リハビリの回数は22.4回±4.6回(14回から29回)

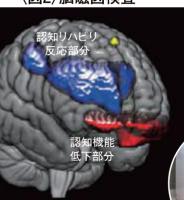
RUNAU EX

この研究成果は科学 的に正しく重要な発見 であることが認められ、 国際科学雑誌Agingに 掲載されました。

▲国際科学雑誌Aging 2020年12月7日付で掲載された

今回の研究では、軽い認知機能の低下がある16 人の患者さんに、約半年の認知リハビリ※を受けてい ただき、その効果を科学的に検証しました。研究の結 果、リハビリが脳にはたらきかけていることが確かめら れ(図1)、その効果は、長く認知リハビリを受けた人ほ ど強い傾向があることがわかりました。認知機能の低 下が進行している方や高齢の方には効きにくいという こともなく、また脳磁図(MEG)装置を使うことで、認

〈図2〉脳磁図検査



脳磁図 (MEG)装置を用いて検出。赤が認知機 能の低下に関わる脳部位、青が認知リハビリに関わる脳部位。認知リハビリと脳の活動が、確かに関 係していることが分かる

知リハビリが 効率的に行え るようになるこ とを客観的に 確かめられま した(図2)。



脳磁図装置

研究で行ったリハビリを受けてみたい方! 当院でも受けることができます!!

※認知リハト



ものわすれ外来 受診後に行います













「リハを受けに来る」という行為そのものもリハビリです!

適切な治療とリハビリで、認知症は良くなることがあります。

認知症のお悩みなら ものわすれ外来 または 脳機能ドック にご相談ください。



社会医療法人 社会医療法人 **能谷総合病院・**脳機能ドック

リハビリテーション科のワンポイント講座

ながら体操で心不全予防

コロナ禍が続く今、運動をする機会が減り、生活習慣病(高 血圧、糖尿病、脂質異常症など)になるリスクが高くなって います。生活習慣の悪化は、心不全を引き起こす原因である ため、生活習慣の改善を図り、心不全を予防しましょう。 今回は、テレビを見ながら出来る運動を紹介します。





心不全とは?

心臓の機能が悪くなり全身に 血液が届きにくくなっている状態 『軽く息が弾む程度』『軽く汗ばむ程度』 の運動を楽しもう!



両手を耳にあて、肩の高さまで腕をあげます。肩甲骨を近づけるようにストッレチしましょう。



片足を少し開き、足を伸ばします。手を足先に 伸ばして太ももの裏を伸ばしましょう。



踵を上げることで第二の心臓と言われる ふくらはぎを鍛えましょう。



片足をゆっくり上げ、床と水平にします。

NΝ 入退院支援センタ



入退院支援センターは、医師、看護師、社会福祉士(MSW)、 事務など多職種から構成され、必要に応じ、薬剤師や療法士 などと円滑な連携を図りながら、地域の医療・福祉機関とと もに多機関・多職種連携による患者ひとり一人の状況に合わ せた質の高いサービスを提供することを目的に設置されてい ます。

本年 2021年1月より、入院治療が必要な患者さんが安心で 安全な治療が受けられるための病床が適切に確保されるよ う、新たに病床管理を目的としたベッドコントロール機能が 当センターにて担う体制が構築されました。

熊谷総合病院の病床機能について

現在限られた医療資源の中、実情の異なる地域ごとに、各医療機関がもつ役割が十分に発揮されるよう、地域 医療の機能分化が推進されています。一概に「病院」といっても、その病床機能は、救急医療から回復期・慢性 期医療などの機能を有するなど役割は様々です。

熊谷総合病院の病床機能は、救急医療(二次救急)・専門的検査・治療を提供する急性期病棟・そしてリハビリテー

ションを中心とした回復期の病床 機能を有しており、地域医療の一 端を担っています。(右図参照) 夜間や休日などの救急患者(救急 車)の受け入れはもちろんのこと、 各医療機関からのご紹介による専 門的治療の提供が当院で行われて います。





当院の病床機能のイメージ



一般急性期病棟

各診療科の専門的な治療や検査・手術など急 性期治療を行う病棟です。

急な病気やケガなどによる入院治療、全身状 態の管理などが必要な方が対象となります。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者さんに 対し、寝たきり防止と在宅復帰をするための障 害をできる限り改善させ、日常生活の自立を図 ることを目的としたリハビリテーションを積極 的かつ集中的に行うための病棟です。

HCU(ハイケアユニット)

高度な治療や看護を必要とする患者さんや術 後の患者さんを対象とした病棟です。状態が安 定次第、一般病棟へ移動していただきます。

地域包括ケア病棟

急性期治療後の症状が安定した患者さん(回 復期リハビリテーション病棟の対象ではない方) に、退院に向けて日常生活に必要な訓練や在宅 療養に必要なサービスの調整等を行います。

① 入退院支援センターでは どんなことをしているの?

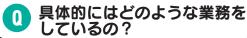
入退院支援センターでは、入院前から患者 さんや家族が安心して入院できるように、入 院中の生活や治療・手術などの説明を行いま す。また、患者さんの身体面・精神面・社会 面背景を把握し、入院してから在宅療養まで 安心して医療が受けられるよう、多職種が連 携し切れ目のない支援を提供します。

入院後は患者さんや家族が希望する生活の場に戻れるように、退院後の療養環境の整備、福祉制度や介護サービスについて説明を行ってまいります。

また、地域の医療機関、ご紹介患者さんの 窓口となりスムーズな受診が行えるなど、切れ目ない医療がご提供されるようトータルサ ポートいたします。

入院が必要な患者さんが当院で必要な治療が適切なタイミングで受けられるように、病床を管理しています。また緊急で入院加療を必要とする患者さんのためのベッド調整が毎日行われております。

- ●入院に関するオリエンテーション
- ■入院受付業務・転院患者の受け入れ手続き
- ●入院・転院に関する問い合わせの対応
- 地域の医療機関からのご紹介による診療・ 検査予約等
- ■退院支援・調整(転院、在宅等地域との連絡調整)
- ●患者相談(診療に関する相談・質問等)の窓□
- ●退院を可能とする制度や社会資源との調整
- ●ケアマネージャー・福祉介護施設等との 連携・情報共有
- ●病床管理・ベッドコントロール



地域医療連携室の主な業務内容

- ①転院相談・受け入れ準備
- ②予約検査受付
- ③紹介患者外来予約
- ④紹介患者の返書管理
- ⑤地域医療機関との連携
- ⑥広報業務
- ⑦医療機関訪問·病院情報取得



入院支援室の業務内容

- ①患者基本情報の把握とデータベース作成
- ②持参薬確認と薬剤師への鑑別依頼
- ③入院説明(入院案内・パス)
- ④基本情報からのスクリーニング
- ⑤入院後に支援が必要な部門への事前情報共有

患者支援室の業務の内容

- ①医療・介護・福祉等の相談受付
- ②退院:転院支援
- ③社会資源サービスの調整
- ④虐待対応・生活困窮者への支援
- ⑤がん相談
- ⑥介護事業所等との連絡相談窓口



病床管理室の業務の内容

- ①全病棟の病床状況の把握
- ②各病棟における入退院情報管理
- ③緊急入院のベッド調整・確保
- ④予約入院のベッド調整
- ⑤転棟・転出の調整
- ⑥予定入院・退院予定の把握



入退院支援センターの意義

地域医療の中核を担う当院の医療提供体制が適切に行われることは、この地域の救急医療を支える重要な要素です。そのためには、治療が必要な患者さんの受け入れ体制を整える病床管理、入院前から退院を見据えた入院支援・退院支援、地域の医療機関からの紹介患者さんが不安なく受診できるためのスムーズな地域連携業務がこのセンターに集約されています。

入退院センターでは、多機関・多職種との情報共有や連携が求められている部署であり、患者さんが安心した治療や入院生活を滞りなくサポートできるようセンターの職員が一丸となって支援してまいります。受診に関する疑問やや入院治療におけるご不安点などがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。また各医療機関・福祉関連事業所からのお問い合わせ等も対応しております。



旬の食材で 免疫力 アツブ!

春は、気温や生活環境が変わる季節です。

気温差や環境の変化などがストレスとなり免疫力が低下すると、体調を崩したり疲れを感じやすいなどの不調が出てきます。欠食などの不規則な食生活や偏食はありませんか?

春はスタートの時期でもありますね。まずは食生活から見直してみましょ

基本は3食規則正しく食事をとること。 **栄**事 栄養バランスの良い食事をすることです。

栄養バランスの良い食事

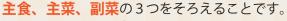
主食ではんパン

麺類

魚、肉 大豆製品 卵

野菜 きのこ いも、海藻

副菜



さらに免疫力アップに欠かせない栄養素には、ビタミンA、B群、C、E、カルシウムなどがあります。特に春が旬の新玉ねぎ、新じゃがいも、春キャベツ、ブロッコリー、アスパラガスなどは、他の野菜に比べこれらの栄養素が多く良いことづくし!ぜひ、旬の食材を主菜や副菜に取り入れてみてください。

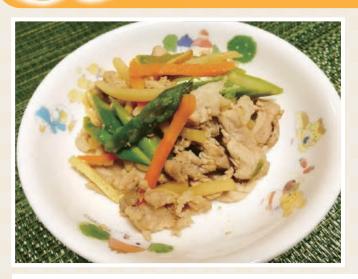


原因の配合等ツース炒ぶ

エネルギー 271kcal

たんぱく質 11.5 g

食塩相当量 0.7 g



<材料>1人分

豚肩でま肉(または豚バラ肉) 60g

新玉なぎ (薄切り) 60g

アスパラガス(斜め切り) 15g(1本)

にんじん(千切り) 10g

サラダ油 3g

*塩・こしょう 少々

*すり卸し玉ねぎドレッシング 大さじ1

作的方

- アスパラガスは下半分をピーラーで剥いて斜め切りにする。新玉ねぎ、にんじん、豚肉は食べやすい大きさに切る。
- ② フライパンに油を引き中火で熱し、豚肉を入れ炒める。
- ③ 肉が焼けてきたら新玉ねぎ、アスパラガス、にんじんを合わせさっと炒める。
- 4 調味料(*)を合わせて完成。

新玉ねぎのビタミン は熱に弱いため 炒めすぎない



また、体のリズムを整えるには、規則正しい生活習慣が大切です。ストレスをためないように、早めの休養・睡眠をとりましょう。

お知らせ

当院では、外来栄養指導を行っています。糖尿病や高血圧などがある方は、栄養指導を受ける ことが可能です。まずは主治医に相談してみてください。



あなたの手が命を救う

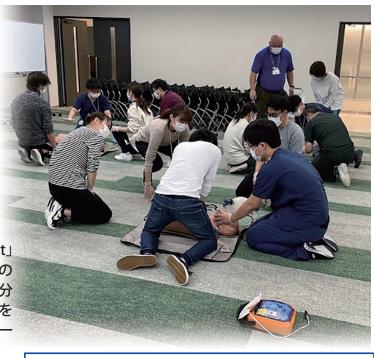
第2回 熊谷総合病院 ICLS コースを開催

(日本救急医学会認定)

「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標に、少人数で実技中心のトレーニングを丸ー日かけて行ないます。

今回は広い kumasou ホールで手袋、マスク着用にて実技を行なうなど、感染対策に重点を置いたコースとなりました。

今後も定期的に開催し、地域あるいは病院全体 の医療レベルの向上につなげていきたいと考え ます。



コース受講終了時には、 日本救急医学会認定 ICLSプロバイダーの 認定証が発行されます。









2020年12月12日(土曜日)8:00頃~18:00頃まで

会場

社会医療法人 熊谷総合病院 KUMASOU ホール

参加費用

¥15,000

募集人数

6名(感染対策で少人数で募集)

コース統括医師)

社会医療法人熊谷総合病院 整形外科 今野 慎

コース開催責任医師

埼玉医大総合医療センター 救急科 (ER) 科 園田 健一郎

コースコーディネーター

社会医療法人熊谷総合病院 診療看護師 荻野 康崇

熊谷総合病院院内マップ

